

事業報告

(平成29年度)

【平成29年4月1日～平成30年3月31日迄】

1. 事業概要	1
2. 事業実績	
(1) 理科教育助成	2
(2) わくわくサイエンスナビ	5
(3) 経営人材育成プログラム	5
3. 会議実績	
(1) 理事会	6
(2) 評議員会	7
4. その他	
(1) 許認可および登記等に関する事項	7
(2) 寄附金に関する事項	8
(3) 内部管理体制に関する事項	8
(4) 附属明細書	8

公益財団法人 日産財団

平成29年度事業報告

1.事業概要

平成29年度は、財団のミッションたる人材育成事業の中核として、「理科教育助成」および「経営人材育成プログラム」を従来方針に沿って継続し、内容の充実と改善による価値向上を図った。

(1)理科教育助成事業

今年度の理科教育助成は、助成対象者へのアンケート調査に基づき、助成金額を従来の60万円/件から70万円/件へと増額し総計35件とした。また、助成期間を終えた平成26年度助成対象者に対し、理科教育大賞1校、理科教育賞2校、ポスターセッション賞1校を褒賞した。

(2)教員向け体験型プログラム

小中学校の教員を対象に、最先端科学研究施設の見学や研究者との直接対話の機会を提供する「わくわくサイエンスナビ」を、従来通り3回実施した。

(3)経営人材育成プログラム

早稲田大学ビジネススクール、米国ペンシルバニア大学ウォートン校、スイス IMD との共催による「逆風下の変革リーダーシップ養成講座 (Global Resilient Leadership Program) を2回実施した。同講座は2014年開始から7回を数え、シラバス内容も講師陣の連携も充実し、第7回の受講者アンケートでは98.2%が『大変満足』との評価を得た。

また、より充実したプログラムと集客力向上の為に海外ビジネススクールとのパートナーシップの見直しを行った。複数の海外ビジネススクールをベンチマーした結果、平成30年度は米国ペンシルバニア大学ウォートン校の継続と英国オックスフォード大学との新規連携を決定した。

<平成29年度助成実績>

助成事業	助成金・負担金(千円)
理科教育助成(地域推薦)	24,500
理科教育賞(褒章)	2,700
経営人材育成プログラム	108,507
教員向け体験型プログラム	3,475
計	139,182

2.事業実績

(1) 理科教育助成

子どもたちの科学的思考能力を向上させる教育実践や教師の理科指導力を向上させる授業研究を行う小中学校、研究会などへの助成を今年度も継続実施した。

助成総数:35件、助成総額:2,450万円、助成期間:2年間

<福島県:総数 8件 総額 560万円>

所属機関名	テーマ
■ 福島県教育委員会 : 8件 560万円	
福島市立三河台小学校	問い続け、生き抜く力を磨き高める科学教育の推進
鏡石町立鏡石中学校	確かな学力の定着を図る授業の工夫と学びの習慣を育てる教育活動の工夫
西郷村立米小学校	つながり合い、高め合う子どもの育成 ～自然に親しみ、自然的事象を観察する活動をとおして～
檜枝岐村立檜枝岐中学校	つなぐをキーワードにした科学的思考力の育成～小中一貫教育とICT機器の活用を通して
南相馬市立石神中学校	知識・技能を活用し、科学的な思考力、表現力を高める学習活動の工夫
いわき市立小名浜東小学校	主体的に考え、主体的に学ぶ子どもの育成
いわき市立桶売中学校	科学的な思考力を育てる授業の在り方 ～タブレット端末等のICT機器を活用した学び合いを通して～
いわき市立小名浜第三小学校	理科における思考力・判断力・表現力を伸ばす授業の在り方

<栃木県:総数 4件 総額280万円>

所属機関名	テーマ
■ 栃木県教育委員会 : 4件 280万円	
栃木県小学校教育研究会 宇都宮支部理科支部部会	科学の心で自然を見つめ、未来をつくる理科学習
宇都宮大学教育学部 附属小学校	問題解決の活動を主体的に行う子どもの育成 ～発見をつないでいく理科授業の展開～
下野市立祇園小学校	主体的に学び、よく考え課題解決ができる児童の育成 ～理科を軸に、書くことを通して～
栃木県立佐野高等学校附 属中学校	思考を整理し、主体的に観察実験に取り組み、結果を協働して分析し、課題解決を図ることができる生徒の育成

＜神奈川県：総数15件 総額1,050万円＞

所属機関名	テーマ
■ 横浜市教育委員会 : 3件 210万円	
横浜市立南本宿小学校	ESDの視点の獲得につながる、 「日常」をサイクルに取り入れた問題解決学習
横浜市立白幡小学校	「21世紀グローバル社会に必要な豊かに学び合う力の育成」
横浜市立三保小学校	持続可能性の教育と研究方法のあり方について ～カリキュラムマネジメントのPDCA～
■ 川崎市教育委員会 : 2件 140万円	
川崎市立小学校理科教育研究会	問題を解決する力を育む理科授業 ～主体的・協働的な学びを通して～
川崎市立菅小学校	自らかかわり 分かりやすく表現し 考えを高める子
■ 相模原市教育委員会: 1件 70万円	
相模原市立淵野辺小学校	響き合い高め合う授業づくり～主体的・協働的に学び合う児童の育成～
■ 湘南三浦教育事務所: 1件 70万円	
三浦市立初声中学校	タブレット端末を用いた顕微鏡の有効性
■ 県央教育事務所 : 1件 70万円	
大和市プランニング教育推進委員会	I C T機器やロボット教材を用いて行う科学教室
綾瀬市立綾瀬小学校	学ぶ喜びを見いだす子～主体的・対話的に学び合うことを通して、考える力・表現する力を育てる～
■ 中教育事務所 : 3件 210万円	
平塚市立神田小学校	「主体的・対話的で深い学び」を実践する理科学習 ～I C Tを生かし、科学的に解決する力の育成を目指して～
秦野市立東小学校	気づきを意識した環境・授業づくり ～自ら伝えあい学びあう子どもの姿をめざして～
認定こども園伊勢原幼稚園	園芸を通して豊かな心を育む
■ 県西教育事務所 : 2件 140万円	
南足柄市教育研究所 南足柄市教育研究会小学校理科部会	実験・観察に係る教師の技能向上への支援
南足柄市教育研究所 南足柄市教育研究会中学校理科部会	小中連携の良さを生かした理科教育への取り組み

＜福岡県:総数 7 件 総額 490 万円＞

所属機関名	テーマ
■ 福岡県教育委員会 : 3 件 210 万円	
福津市立福間中学校	科学を学ぶ意義や有用性を実感する生徒を育てる理科授業の創造
中間市立中間北小学校	子どもが科学的なものの見方・考え方を深める理科学習指導の展開
小郡市立三国中学校	主体的・協働的に問題解決できる生徒を育成する理科学習指導法の研究 ～ICT機器の効果的な活用を通して～
■ 福岡市教育委員会 : 2 件 140 万円	
福岡市立笹丘小学校	「考える力」を確かに育てる生活単元・生活科・理科の学習指導法の研究
福岡市小学校理科研究会	納得のいく考えをつくる理科学習指導法の研究
福岡市立香椎小学校	学ぶ喜びを味わい、確かな力を育てる指導法の研究
■ 北九州市教育委員会: 2 件 140 万円	
北九州市立曽根東小学校	主体的に学び、自ら実践しようとする児童の育成を目指した環境教育
北九州市中学校理科教育研究会	見通しをもった観察、実験を行い、自然事象を科学的に探究する資質・能力の育成を図る中学校理科学習

＜第5回理科教育賞受賞校＞

平成26年度助成校の中で、2年間の教育実践を終え、特に優れた実績を残したら3校による成果発表会を平成29年7月24日に開催し、最終選考の結果、下記の各賞受賞校を決定した。

【理科教育賞大賞 副賞100万円】

神奈川県横浜市立権太坂小学校

【理科教育賞 副賞各50万円】

福島県 福島市立岡山小学校

栃木県 下野市立石橋北小学校

福岡県 北九州市立企救中学校

【理科教育賞ポスターセッション賞 副賞 20 万円】

神奈川県 伊勢原市立桜台小学校

④選考過程

分 類		選考委員会	推薦日	募集期間	推薦 (応募)数	採択数
教育助成・ 人材育成	理科教育賞(褒章)	H29/7/26	—	—	5	5
	理科教育助成(推薦)	H29/11/2	H29/9/末※	H28/6/1～ H28/9/15	35	35

※各推薦者(都道府県市町村教育委員会)によって異なる

(2) 教員向け体験型プログラム(わくわくサイエンスナビ)

「科学的思考能力の高い子どもを一人でも多く育成すること」をめざして、小中学校の教員に対し最先端科学研究施設の見学や研究者との直接対話を経験していただく機会の提供と、それらを通して得た発見を授業に活かすためのワークショップを組み合わせた体験プログラムで、本年度も年3回実施した。

第1回: 平成29年 8月 8日 理化学研究所仁科加速器研究センター

第2回: 平成29年12月26日 東京大学生産技術研究所

第3回: 平成30年 3月27日 早稲田大学先端生命医科学センター

実施費用総額: 3,475千円

(3) 経営人材育成プログラム

変化の激しい経営環境下で変革を主導する次世代リーダーを育成するためのプログラム『逆風下における変革リーダーシップ養成プログラム』を、平成29年度も、引き続き年2回実施した。

第1回 IMD & 早稲田大学ビジネススクールの共同運営

期 間: 2017年 9月 25日(月)～2017年 9月 29日(金)

会 場: 早稲田大学日本橋キャンパス(最終日は日産自動車(株)本社)

参加者: 25名 受講料: 100万円(消費税込)

第2回 ペンシルバニア大学ウォートン校&早稲田大学ビジネススクールの共同運営

期 間: 2017年 12月 23日(日)～2016年 10月 17日(木)

会 場: 早稲田大学日本橋キャンパス(最終日は日産自動車(株)本社)

参加者: 36名 受講料: 100万円(消費税込)

実施費用総額: 108,507千円

3. 会議実績

(1) 理事会

① 第1回理事会（平成29年5月9日開催）

第1号議案:理事会運営規則第16条(3)イ に定める「重要な事業その他契約」
に該当する案件の平成28年度業務契約書承認の件(事後承認)

報告事項:

- (1)前回理事会を受けての理事会運営規則の別表修正について
- (2)前回理事会を受けての資金運用規程の改定について

② 第2回理事会（平成29年6月1日開催）

第1号議案:平成29年度第1回評議員会招集決定の件
第2号議案:平成28年度事業報告および会計報告書承認の件
第3号議案:平成29年度契約書等承認の件(決済金額500万円以上)
第4号議案:経理規程改定の件

報告事項:

- (1)平成29年度職務執行状況の報告の件
- (2)平成28年度以前の早大講師2名との業務委託契約の内容と金額について
- (3)資金運用上損失が発生した場合におけるの理事・監事の責任について
- (4)平成29年度資金運用状況について
- (5)平成28年度第4回理事会を受けての資金運用規程の改訂について
- (6)日産財団への将来的な提案(田嶋理事より)

③ 第3回理事会（平成29年6月28日開催）

第1号議案: 代表理事選任の件
第2号議案: 理事長、副理事長および常務理事選任の件
第3号議案: 理事会運営規則改定の件
第4号議案: 非業務執行理事等との賠償責任限定契約締結の件
第5号議案: リーダーシップ養成講座業務委託契約に関する契約者変更の件

④ 第4回理事会（平成29年12月8日開催）

第1号議案: 平成29年度第1回評議員会招集決定の件

⑤ 第5回理事会（平成29年12月25日開催）

第1号議案: 平成29年度会計監査人監査報酬承認の件

⑥ 第6回理事会（平成30年3月16日開催）

第1号議案: 資金運用規程改定の件
第2号議案: 資金運用委員会設置および資金運用委員会規程承認の件
第3号議案: 財団事務所移転の件

- 第4号議案：平成30年度事業計画書・正味財産増減予算書承認の件
- 第5号議案：選考委員改選の件
- 第6号議案：平成29年度第3回評議員会開催の件
- 第7号議案：平成30年度契約書等承認の件(決済金額500万円以上)
- 第8号議案：情報公開規程改訂の件
- 第9号議案：文書管理規程新規制定の件

報告事項：

- (1) 資金運用状況報告の件
- (2) 平成29年度職務執行状況について
- (3) 財団中期事業構想について
- (4) 神奈川県労働委員会(日産財団不当労働行為事件)の進捗状況について
- (5) 平成28年度マネジメントレター改善提案への対応について

(2) 評議員会

① 第1回評議員会(平成28年6月20日開催)

- 第1号議案：平成28年度事業報告および会計報告書承認の件
- 第2号議案：理事改選の件
- 第3号議案：評議員改選の件
- 第4号議案：監事改選の件
- 第5号議案：定款変更の件

報告事項：

- (1) 平成27年度事業計画書・正味財産増減予算書について

② 第2回評議員会(平成29年12月15日開催)

- 第1号議案：定款の一部変更および会計監査人選任の件

③ 第3回評議員会(平成30年3月26日開催)

- 第1号議案：新理事選任の件
- 第2号議案：役員報酬改訂の件

4. その他

(1) 許認可および登記等に関する事項

① 許認可

なし

② 登記

平成30年1月5日 理事1名退任

平成30年1月5日 非業務執行理事等の法人に対する責任の限度に関する規定

平成30年1月5日 会計監査人設置法人に関する事項

- ③ 提出・変更届出・変更認定申請
- ・事業報告等の提出（平成29年6月30日）
 - ・事業計画の提出（平成30年3月30日）

(2) 寄附金に関する事項

- ・ 13件 2,602,274円

(3) 内部管理体制の整備状況

- ・ 内部統制に関する関連規程および業務処理基準書の整備
- ・ 公益性、法令順守意識涵養のための全役職員対象の勉強会の実施
- ・ 行動規範の策定と全役職員からの署名

(4) 附属明細書

平成29年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項にて規定される附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。